



第54回 RIDCマンスリー研究セミナー

同位体分析による古代アンデスの生業復元

スピーカー

国立科学博物館 研究員

瀧上 舞

日時

2026年3月11日(水)

12:00~13:00

場所

オンライン開催



2022年, Carlos Gil Arboocco 撮影

アンデス地域では形成期と呼ばれる時期にアンデス文明の基礎となる社会が構築された。神殿を中心とする社会が発展し、リーダーと目される人物が出現し、人や資源が行き来する交易ネットワークが形成された。そのような社会において、生業の基盤となったトゥモロコシ農耕と、リャマ・アルパカの大型家畜の飼育がいつ・どのように広がり、古代社会の変遷に影響したのかを調べる研究プロジェクトが現在進んでいる。この発表では同位体分析により明らかになったアンデス形成期社会の農牧複合型生業の展開について紹介する。

お申し込み先

<https://forms.gle/HwnHTsMMdHXas5Dh8>

お申し込み締め切り

3月10日 12:00

お問い合わせ先

文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp



*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。